



No.520

FU-JI-TSU

中島みゆき——作詞
後藤次利——作曲
工藤静香——唄

こんなちいさなほしでは一きつとであってしま
うふたりわかれつけ—ても—あんなかがやいたひびも
クラクションよびかけてしまう
—ぜんぶむだにするようなであいはよし—たいね—おとなに
—ラブソングながれるまちでおたがいにふたり—ずつで—いぶかし
な—にがわらいだとか—それとも—こどものことば
そ—に—ふりかえるあなた—ひとみを—かすかにににか
でなくさめをふ—じつですはじめてあ—ったようなふしぎがお
がよこぎったふ—じつですわたしなつ—かしかっただけなの
すはじめてあ—ったようなふしぎがお
わたしは—まちかどピエロ—ふじつですほほえんだ—わたしを
なまえも—しらないなんて—ふじつですそのしはい—をだれに
わたしは—まちかどピエロ—ふじつですほほえんだ—わたしを
ふしぎがおそれは—ないんじゃ—ない
みせたいのかのじょ—もきのど—くね
ふしぎがおそれは—ないんじゃ—ない
ふ—じつで
(アドリブ演奏)
ふ—じつで D.S.